

全国のカンキツ仲間が集う！

第55回全国カンキツ研究大会

11月10日～11日の2日間、第55回全国カンキツ研究大会が鹿児島市及びさつま町で開催されました。

鹿児島県では、平成2年以来、19年ぶりの開催であり、全国のカンキツ農家・JA・行政・市場関係者など約700名の参加がありました。

また、2日目の産地視察では、本町の新生団地に、バス8台、200人が来場しました。

団地内では、歓迎セレモニーの後、それぞれ圃場を見て回り、地元生産者との意見を交わす場面もありました。



新生団地のみかん農家の皆さん

現在、新生みかん団地では、7名の生産者が約15ヘクタールでみかんの栽培を行っており、特にヒリュウ台木の十萬温州は、全国的にも珍しく、高い評価を得ています。

また、平成17年から「かごしまの農林水産物認証」を取得しており、安心・安全なみかんの生産に取り組んでいるほか、独自にパッケージセンターで選果荷作りを行ない、量販店と契約販売を行なっています。



熱心に行われた情報交換

芸術の秋

町文化協会

各支部文化祭

10月31日～11月1日、薩摩文化祭が薩摩農村環境改善センターで、11月1日、鶴田文化祭が鶴田中央公民館で、11月1日～3日に宮之城文化祭が宮之城文化センターで、それぞれ開催されました。

水墨画や絵画、短歌、写真など、色とりどりの作品が会場を飾った展示発表、また、和太鼓、五つ太鼓、舞踊、ハーモニカ、ダンスなど、様々な演目で舞台を飾った芸能発表が各会場ともあり、それぞれの団体が、1年間の練習の成果を発表されました。



息の合った和太鼓の披露

第3回市場まつり

10月18日、さつま町公設地方卸売市場において第3回市場まつりが開催され約500名を超える来場者が訪れました。

会場では、地元農産物の模擬セリやバナナの叩き売り、川内川で獲れた川エビのから揚げ試食販売や水産物の販売、商工会商品券や農水産物の当たる抽選会が行われました。

新鮮な地元の野菜や水産物の消費拡大につながる良い機会となり、両手いっぱい荷物を抱えた方が多く見受けられました。

また、市場ではふるさと宅配ギフトや川エビ冷凍宅配も行っておりますので、ご利用ください。



薩摩中央高校出店コーナーの様子

柏原分団

消防車庫交付式

柏原分団消防車庫がほたる公園内に完成し、11月15日に交付式が行われました。これまでの旧消防車庫は築32年を経過し、老朽化も進んでいたことから消防整備計画に基づき、新しく建設されたものです。

交付式では、日高町長が上川畑柏原分団長に交付書を手渡したあと、「これからも柏原区の防災拠点として、また住民への情報発信基地として大いに活用してください。」と述べました。



交付書を日高町長から上川畑柏原分団長へ

全国大会銀賞に輝く 宮之城吹奏楽団

10月17日～18日、愛知県の名古屋国際会議場で開催された第57回全日本吹奏楽コンクールに、九州大会で代表金賞を受賞した、宮之城吹奏楽団が参加しました。全国から計26団体の名だたる強豪楽団が揃ったコンクールで、栄えある銀賞を受賞し、「吹奏楽のまち」さつま町の名を全国に轟かせました。

10月19日、日高町長への受賞報告の際、紺屋団長は、「全国レベルでのいい経験を積むことができ、団員一同新たな目標を確認できた。これからも地域に親しまれる楽団として続けていきたい。」と今後の抱負を話されました。



演奏を終えた「宮吹」のメンバー

柏原 地頭園誠一さん 瑞宝単光章を受賞

平成21年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章された元鶴田町消防団副団長の地頭園誠一さん（72歳）が町長室を訪れ、日高町長に受章の報告をしました。地頭園さんは昭和37年に旧鶴田町消防団に入団し、平成16年に退団するまで42年間の永きにわたる、住民の生命と財産を守るため消防団活動に尽力され、その功績が認められたものです。

報告では「家族や地域の方々のおかげで叙勲をいただくことができ、大変光栄に思っています。」と喜びを語っていただきました。



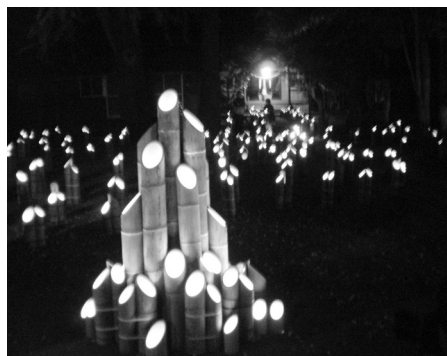
地頭園さん（前段中央）とご家族の皆さん

第3回みやんじよ 温泉竹ホテル

11月20日から22日までの3日間、湯田の八幡神社前県道沿い一帯で、「みやんじよ温泉竹ホテル（竹灯ろう）が点灯され、県内外から多くの見物客が訪れました。

このイベントは、平成18年の水害からの復興と川内川のホタルの再生を願い開催されており、今回で3回目を迎えました。竹灯ろうが設置されるまでには、竹の切り出し作業から結束作業、通りへの設置作業まで、地域住民やボランティアなど多くの方々の協力によって設置されました。

今年は、昨年と同じ7千本の竹灯ろうが灯され、ろうそくの温かみのある幻想的な光に包まれました。



幻想的な光を放つ竹とうろう

生かせ！地域の農林業 町農林業関係機関 団体長懇話会

11月16日、さつま町農林業関係機関団体長懇話会が役場会議室で開催されました。

これは、町内に事務所を有する農林業関係の団体長が一同に会し、本町農業の現況と課題について意見交換を行うもので、今回が初めての開催となりました。

当日は、北薩地域振興局やJAさつま、薩摩中央高校、県土改連、町土地改良区、町農業委員会、北薩森林管理署、北薩農業共済組合、北薩森林組合などの9団体の代表者により活発な意見が出されました。



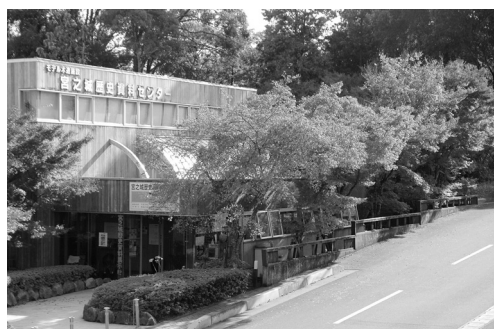
活発な意見が出された会議

もみじ プロジェクト会議

本町は、合併後に町の木・花・竹・鳥・昆虫を選定し、町木として「もみじ」を決定しました。さらに、平成18年12月には、県知事の同意を得て、県内で第一号の景観行政団体となりました。

町内では、歴史資料センターや観音滝公園、鶴田ダム周辺などがもみじの名所として知られています。

すでに、今年度は、プロジェクト会議（事務局Ⅱ商工観光課 メンバー13人）を2回開催し、植栽地などについて協議を行いました。今後は、会議の中で、新たな植栽地や種類の検討を進め、新しい観光名所を育て、町木「もみじ」の周知を図っていきます。



見頃を迎えた歴史資料センターの「もみじ」